

山形県ミサイル関係危機対策本部 第1回本部員会議

日時 令和4年11月3日(木)

午後9時30分

場所 県庁5階 502会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 協 議

(1) 北朝鮮による弾道ミサイルの発射状況等について

(2) 本県における今後の対応について

(3) その他

4 閉 会

北朝鮮による弾道ミサイルの発射について

1 弾道ミサイル発射の概要

北朝鮮は、午前7時39分頃、北朝鮮から弾道ミサイルが発射され、7時48分頃、宮城県、山形県、新潟県からなる上空を通り、太平洋上に通過したとの情報がありました。その後このミサイルは、日本の上空を通過しなかったとの情報がありました。

また、その後、北朝鮮は弾道ミサイルを2回発射したとの情報があります。

2 県内への影響等

(1) 県内の被害情報

県内の各消防本部を通じて、被害がないことを確認した。

(2) 県関係船舶の安全確認状況

本県関係漁船及び加茂水産高校実習船「鳥海丸」の無事を確認するとともに、漁業監視調査船「月峯」及び漁業試験調査船「最上丸」が酒田港に停泊していることを確認した。

(3) Jアラートの運用状況

全ての市町村で正常に作動したことを確認した。

3 今後の対応

- ・引き続き、市町村や各消防本部及び関係機関と連携し、情報収集に努める。
- ・万が一、本県にミサイルが落下した場合に備え、ミサイル落下時の避難・行動について、市町村や関係機関と連携し、周知を図る。

以上

(別紙) 令和4年 北朝鮮からのミサイル発射状況

1	R4. 1. 5	極超音速ミサイル1発を発射 <北朝鮮内陸部から約500kmの日本海上に落下>
2	R4. 1. 11	極超音速ミサイル1発を発射 <北朝鮮内陸部から約700kmの日本海上に落下>
3	R4. 1. 14	短距離弾道ミサイル2発を発射 <北朝鮮北西部から約400kmの日本海上に落下>
4	R4. 1. 17	短距離弾道ミサイル2発を発射 <北朝鮮西部から約300kmの日本海上に落下>
5	R4. 1. 25	巡航ミサイル2発を発射
6	R4. 1. 27	短距離弾道ミサイル2発を発射 <北朝鮮東部から約190kmの日本海上に落下>
7	R4. 1. 30	中距離弾道ミサイル1発を発射 <北朝鮮内陸部から約800kmの日本海上に落下>
8	R4. 2. 27	大陸間弾道ミサイル(ICBM)級のミサイル1発を発射 <北朝鮮西岸から約300kmの日本海上に落下>
9	R4. 3. 5	大陸間弾道ミサイル(ICBM)級のミサイル1発を発射 <北朝鮮西岸から約300kmの日本海上に落下>
10	R4. 3. 16	大陸間弾道ミサイル(ICBM)級のミサイル1発を発射 (発射失敗)
11	R4. 3. 24	大陸間弾道ミサイル(ICBM)級のミサイル1発を発射 <北朝鮮西岸から約1,100km飛行し、北海道渡島半島の西方約150kmの <u>排他的経済水域 (EEZ) 内に</u> 落下>
12	R4. 4. 16	短距離弾道ミサイル2発を発射 <北朝鮮東部から約110kmの日本海上に落下>
13	R4. 5. 4	大陸間弾道ミサイル(ICBM)級のミサイル1発を発射 <北朝鮮西岸から約500kmの日本海上に落下>
14	R4. 5. 7	短距離弾道ミサイル1発を発射 <北朝鮮東岸から約600kmの日本海上に落下>
15	R4. 5. 12	短距離弾道ミサイル3発を発射 <北朝鮮西岸から約350kmの日本海上に落下>
16	R4. 5. 25	大陸間弾道ミサイル(ICBM)級のミサイル1発、短距離弾道ミサイル2発を発射 <北朝鮮西岸から約300、750kmの日本海上に落下。1発は失敗。>
17	R4. 6. 5	短距離弾道ミサイル8発を発射 <北朝鮮内の4か所から約110~670kmの日本海上に落下>
18	R4. 8. 17	巡航ミサイル2発を発射
19	R4. 9. 25	短距離弾道ミサイル1発を発射 <北朝鮮内陸部から約650kmの日本海上に落下>
20	R4. 9. 28	短距離弾道ミサイル2発を発射 <北朝鮮西岸から約350、300kmの日本海上に落下>
21	R4. 9. 29	短距離弾道ミサイル2発を発射 <北朝鮮西岸から約300kmの日本海上に落下>
22	R4. 10. 1	短距離弾道ミサイル2発を発射 <北朝鮮西岸から約400、350kmの日本海上に落下>
23	R4. 10. 4	中距離弾道ミサイル1発を発射 <北朝鮮内陸部から <u>日本の上空を通過し</u> 、約4,600kmの太平洋上に落下>
24	R4. 10. 6	短距離弾道ミサイル2発を発射 <北朝鮮内陸部から約350、800kmの日本海上に落下>
25	R4. 10. 9	短距離弾道ミサイル2発を発射 <北朝鮮東岸から約350kmの日本海上に落下>
26	R4. 10. 12	巡航ミサイル2発を発射
27	R4. 10. 14	短距離弾道ミサイル1発を発射 <北朝鮮平壤近郊から約650kmの日本海上に落下>
28	R4. 10. 28	短距離弾道ミサイル2発を発射 <北朝鮮南東部から約230kmの日本海上に落下>
29	R4. 11. 2	短距離弾道ミサイル少なくとも2発を発射 <北朝鮮東岸から約150、100kmの日本海上に落下>
	R4. 11. 2	短距離弾道ミサイル少なくとも1発を発射 <飛距離不明>



弾道ミサイル 落下時の行動

国民保護
ポータルサイト



ミサイルが日本に落下する可能性がある場合、国は「Jアラート」を活用して防災行政無線で特別なサイレン音とメッセージを流すほか、緊急速報メール等による情報提供を行います。

Jアラート



【例】直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難して下さい。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難して下さい。

もしメッセージが流れたら
落ち着いて、直ちに行動して下さい。

屋外に
いる場合

近くの建物の中や地下に 避難する。

(注) できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになれば、それ以外の建物でも構いません。

建物が
ない場合

物陰に身を隠すか、 地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、 窓のない部屋に移動する。

近くに
ミサイル
落下!

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

政府の最新情報は
こちらをチェック



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
[@Kantei_Saigai](https://twitter.com/Kantei_Saigai)